

## 猪高の森自然観察会 2021年3月報告書

自然観察グループ代表 安井 弘

開催日時：2021年3月28日(日) 9:30~12:10 天候：曇り時々雨

テーマ：里の春探し、春の七草探し

参加人数・構成：14名 小学生以下5名、保護者（父母等）4名、一般5名  
(うち指導員2名、60代以上(?)4名)

コース：森の集会所 → オオシマザクラのある畑 → 塚ノ杵池池畔 →  
シダレザクラの里 → 森の集会所

### 観察した生き物

(植物) ミヤマガマズミ、コバノガマズミ、ナワシログミ、アキグミ、アオキ、  
ウラシマソウ、ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ、オドリコソウ、ケキツネ  
ノボタン、ヨモギ、ナズナ、スズシロ (ダイコン)、  
ハコベ、ネギ (ネギボウズ)、セリ、ナノハナ、オオイヌノフグリ、カラスノエ  
ンドウ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、シラユキゲシ、スズランスイセン、カジ  
イチゴ、ハナニラ、ミツバツチグリ、ハナモモ、ツクシ、コバノミツバツツジ、  
バイモ、コブシ、テンダイウヤク、ミツマタ、コウグイスカグラ、ベニヤマザ  
クラ、トサミズキ、シナレンギョウ、ヤマコウバシ、ウスノキ、タカノツメ、  
ゴンズイ、ヤマツツジ、ショカツサイ (別名ハダイト)、レンゲ、 (アンダー  
ラインは、春の七草)

(野鳥) オオバン、メジロ、ハシブトガラス、ヒヨドリ

(昆虫等) ナナフシ (幼虫)、モンキチョウ (キタキチョウかも?)

### 観察会の内容等

雨模様の開催で、心配したが14名(小学生以下5名)の参加を得てスタートする。

「里の春探し、春の七草探し」がテーマであり、例年より少し早く咲きだした花・  
芽出しなどの観察と、春の七草探しをした。

森の入り口で白い花を咲かせている、ミヤマガマズミを前に、ガマズミ3兄弟の話  
をしていると、ナナフシの幼虫を見つけ、長い足をたくみに動かし歩く様子をカメラ  
におさめて喜ぶ子の姿に見守る親も夢中になっていた。となりでウラシマソウの仏炎  
苞と長く伸びた糸に「不思議」との声があがる。

畑周りで、ハコベなどの春の七草を観察し、ナズナの茎をとり、カサカサとなる音  
を楽しんだ。竹林の中に咲く、ヤマザクラ、オオシマザクラを見て、花卉枚数、雄蕊・  
雌蕊をルーペで観察した。ヤマノイモの枯れたつる、スギボックリの説明もできた。

塚ノ杵池を回り、シダレザクラ(花は終わっていた)の里の池で、ニホンアカガエ

ルのオタマジャクシを観察し、5月中下旬にはカエルとなり森へ入るなどの説明を聞いた。この辺りは昔、畑や田んぼであり、園芸種植物が持ち込まれ、美しい花を見ることができた。また、花の色が濃いベニヤマザクラ、テンダイウヤク、コウグイスカグラ、ミツマタなどの花を観察した。森の中では、コバノミツバツツジが存在感を見せ、タカノツメ、ヤマコウバシ、ゴンズイなどの新芽に力強さを感じた。雨のなかスタートした観察会も、参加者から楽しかったとの声を聞くことができ良かった。心配した雨も不思議と観察中はやみ、終了と同時に降り出し、空に感謝した。